

1. 日米株式と円/ドルの推移

<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

	単位	2018/12/31	2019/6/28	2019/7/5	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	20,014.77	21,275.92	21,746.38	24,448.07	2018/10/2	15,106.52	2016/7/8
NYダウ	ドル	23,327.46	26,599.96	26,922.12	26,966.00	2019/7/3	17,713.45	2016/7/6
円/ドル	円	109.69	107.85	108.47	118.66	2016/12/15	99.54	2016/8/16

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、上昇～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+470.46円(+2.21%)、TOPIXが+41.44ポイント(+2.67%)となり、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、上昇となりました。業種別(東証33業種)で見ると、海運業、建設業、小売業、医薬品などの31業種が上昇する一方、鉱業、石油・石炭製品の2業種が下落しました。

週初の1日は、先々週末に大阪で開催された米中首脳会議で貿易協議の再開が合意され、米国の追加関税第4弾の発動見送りとファーウェイに対する禁輸措置を一部緩和が公表されたことを好感し、大幅上昇して始まりしました。翌2日は米国株高を好感し続伸しましたが、3日は、米国がEU(欧州連合)に対する追加関税を公表したことや、米国の利下げ観測やECB(欧州中央銀行)総裁人事への思惑から海外金利が大幅低下したことを受け円高が進んだことなど嫌気し下落しました。週後半は、米国株においてNYダウが9カ月ぶりに史上最高値を更新したことを受け投資家のセンチメントが改善し、上昇しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前日
7月8日	Mon	日本	国際収支:経常収支	5月
			貿易収支(国際収支ベース)	5月
			機械受注(前月比)	5月
			景気ウォッチャー調査現状	6月
			景気ウォッチャー調査先行き	6月
7月9日	Tue	欧州	ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)	45.6
		日本	5年利付国債入札	
7月10日	Wed	欧州	EU財務相理事会(ブリュッセル)	
		日本	国内企業物価指数(前年比)	
		米国	FOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨公表(6月18日-19日開催分)	6月
7月11日	Thu	中国	CPI(消費者物価指数)(前年比)	2.7%
		日本	流動性供給入札	
7月12日	Fri	米国	第3次産業活動指数(前月比)	5月
		米国	CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	6月
7月15日	Mon	米国	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	6月
		米国	ニューヨーク連銀製造業景気指数	7月
		中国	鉱工業生産(前年比)	6月
			GDP(国内総生産)(前年比)	4-6月期

決算発表予定 他	国・地域	決算発表	日付	内容
	日本	決算発表	7/10	良品計画、ユニ・ファミリーマートホールディングス
	海外	決算発表	7/9	ペプシコ 7/11 デルタ航空 7/12 インフォシス

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～パウエルFRB議長の議会証言を控え、日経平均21,000円台半ばでもみ合う展開～

今週の日本株市場は、①米中貿易摩擦への懸念が後退したこと、②需給面において、企業の自社株買いや4月以降先物を中心に大幅に売り越した海外投資家による買戻しが見込めること、③先週末に発表された米国非農業部門雇用数が市場予想を大幅に上回ったことを受けて米利下げ観測がやや後退する中、円高ドル安圧力が和らいだことなどがサポート要因となる一方、④米中貿易問題が改善したわけではなく、第3弾までの追加関税の継続が世界景気や企業業績の下押し圧力となること、⑤10、11日にパウエルFRB議長の議会証言を控え様子見姿勢が強まりやすいことなどから上値も重く、日経平均21,000円台半ばでもみ合う展開を予想します。

その他の注目材料として、日本では8日の景気ウォッチャー調査、米国では10日のFOMC議事要旨や11日のCPI、12日のPPI、中国では10日のCPI、15日の鉱工業生産やGDPなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

URL: <http://www.alamco.co.jp>